

Point

- ・生ごみはなるべく細かくしてから入れると分解が早い。
- ・生ごみを入れない日も、発酵に必要な空気を取り入れるために毎日かき混ぜる。
- ・白カビの発生は発酵が進んでいる証拠。気にせずに混ぜてOK！



全体に空気を入れるようにしっかりかき混ぜる。

入れない方がいい生ごみ

- ・生肉、生魚…臭いの原因に
- ・柑橘類…殺菌成分が発酵の妨げに
- ・玉ねぎ、トウモロコシの皮…分解されにくい
- ・骨、貝殻…分解されない
- ・漬物、味噌…塩分が強く堆肥に向かない



1日500g程度（基材25ℓの場合）の生ごみを入れる。



水を加えて、さらにかき混ぜる。



強めに握って軽く固まるまで

基材がべたついてきたら…生ごみの投入をストップ！



基材がべたついてきた後は生ごみを投入せずに、1週間に1度水を入れてかき混ぜながら、1カ月程度熟成させれば堆肥の完成！

土と堆肥を3：1の割合で混ぜて使用しましょう。

雨に濡れない風通しの良い場所に設置（屋外でも屋内でもOK！）。

通気性を確保するために、設置台の上に置きましょう。



虫が入らないように覆い布を被せ、ゴムひもや重しで固定する。

つくってワクワク!! ダンボールコンポスト

3カ月で約45kgのごみを減らせる!?

生ごみから堆肥を作って、家庭菜園を始めよう！微生物の力を借りれば、身近にあるダンボールで簡単に生ごみを堆肥にできるんです。ごみも減っておいしい野菜が食べられて、一石二鳥ですよ！ 問 環境対策室 ☎ 63 - 7496



詳しくはこちら

準備するもの

- 二重構造のダンボール（みかん箱など）
- 中敷き用ダンボール
- クラフトテープ（ガムテープ）
- 覆い布（風呂敷やタオルなど）
- 設置台（木材やブロックなど）
- スコップ
- 基材
● ピートモス 15ℓ
- くん炭 10ℓ



虫が入ないようにダンボールの底の隙間をテープでふさぐ。中に中敷き用ダンボールを入れると強度が増す。



2
3
くん炭
ピートモス
基材は2/3まで

箱の3分の2までピートモスとくん炭を3：2の割合で入れ、しっかり混ぜ合わせる。

ダンボールは、微生物が生ごみを分解するのに必要な「通気性」と「水分調整」に適した素材！簡単に手に入るの、手軽に始められますよ。



市職員もダンボールコンポストに挑戦！

初日



生ごみが分解されていく様子を、1カ月間観察しました。

一カ月後



詳しい結果は動画で！

自由研究みたいで楽しかった！

たくさん入れた生ごみが、1カ月後にはほぼゼロになってびっくりしました！毎日分解の様子を観察していると自由研究みたいでワクワク。なんだか愛着もわいてきます。生ごみを堆肥化すれば環境に優しく、ごみ袋購入費の節約にもなって一石二鳥！あなたもダンボールコンポスト生活、始めてみませんか？

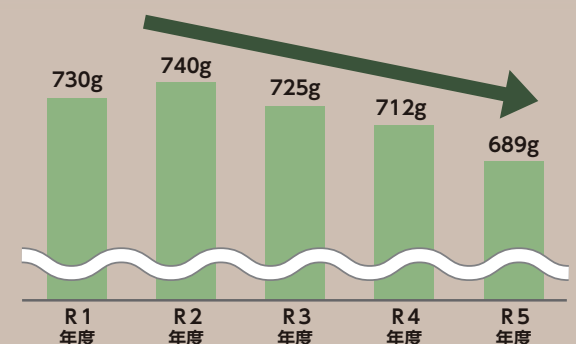


環境対策室 出口

名張市は県内の市で最も1人1日当たりのごみ排出量が少ない

実は名張市は、1人1日当たりのごみ排出量が689gと、県内14市で最も少ないんです（令和5年度）。市民の皆さんのご協力で、ごみの排出量は年々減少しています。

燃やすごみのうち約4割を占めている生ごみは、他のごみと比べて非常に多くの水分を含んでいるため、燃やすためには大きなエネルギーが必要です。生ごみの排出量を減らすことは、家計の負担を減らすのみならず、環境への負荷を減らすことにもつながります。



1人1日当たりのごみ排出量の推移